

審査基準

スターメイン

- ・作品がその名称と整合しているもの
- ・個々の煙火の色彩及び鮮明度がよいもの
- ・伴奏音楽を使用するスターメインにあっては、両者のマッチングのよいものは加点

10号玉

- ・作品がその名称と整合しているもの
- ・作品が菊型花火である場合は、親星及び芯星ともに正円を描いているもの
- ・星の配色，鮮明度及びぼんの大きさが良いもの

創造花火

- ・作品がその名称と整合しているもの
- ・作品の個々又は作品の組み合わせに創造性のあるもの
- ・星等の配色，輝きがよいもの

保安審査（保安審査員2名により審査）

- ・筒ばねは失格
- ・地上20m以下に影響する過早発・不発は失格
- ・低空開発においては程度により減点
- ・星の落下についても程度により減点

審査講評 抜粋

今大会はあいにくの小雨の中で実施されました。スターメインや創造花火など、花火が開く位置が比較的低いものについては見えたものの、誠に残念ながら花火の開く位置の高い10号玉の作品については、雲が低かったことから見えないものが多数ありました。このため、審査委員会では10号玉についてはノーコンテストにすべきではないか、という意見もありました。しかしながらノーコンテストにすべきかどうかについて判断する権限は審査委員会には無いため、10号玉作品についても審査を行いました。

通常、採点方法については公表はしておりませんが、今年の10号玉についてはどのように採点したか説明させていただきます。全く見えなかった花火については標準玉と同じ点数とし、見えた花火についてのみ採点いたしました。過去の大会でも無風状態においては煙で見えない場合がありますが、その場合の採点方法を踏襲したものです。

スターメイン、10号玉、創造花火の三部門の優勝作品の中から、技術的・芸術的に最も優れた作品が内閣総理大臣賞に選出されますが、本年度は10号玉については見えないものが多数あったことから、内閣総理大臣賞の選考からはずさせていただきました。

雲のために10号玉の多くが見えなくなったという事態は、おそらく長い土浦の花火大会の歴史の中で、あるいは全国の花火競技大会の中でも無かったのではないかと思います。審査規定にもこのような事態に対する対応については記載がありませんが、今後の検討が必要であると思います。